

地域の活性化を考えるなら必要

わたしの地区は電波過疎地。日ごろから非常に不便を感じている。5、10年先には誰かが整備するのかもしれないが、それまでわたしたちは我慢しなければいけないのか。山間部には未だに1SDN回線しかつながらない場所もある。そういうこともみんなに知ってほしい。モバイル通信を使っている人もいるが、速度は遅く使えたものではない。どの地域に住んでいても平等な生活を送りたいとみんな思っている。町がすたれていく可能性がある中、地域活性化しようとするなら、インターネットくらいは不自由なく使えないと。高齢者福祉などにも魅力を感じている。

国の動向をもう少し見守っていた方が良いのでは

この事業は、貧乏な町が16億円も使ってやる事業ではないと思う。テレビ電話を使えるというが、実際に使う人が何人いるのだろうか。見守りや医療相談をテレビ電話でやるなど愛情が感じられない。だったら実際に会いに行けばいい。地域ぐるみや人付き合いの良さといったこの町の文化がすたれてしまう可能性もある。もうちょっと情勢を見ながら待っていた方がいい。技術は日進月歩だからだ。5年前に策定した新町建設計画など、もう古いのではないか。

具体的な効果を示してほしい

光ファイバ網は絶対に必要。これがないければ若者はますます町外に出てしまう。ただ若者や一部の人は光ファイバ網の必要性を分かっているが、ほかの人はそんなに金がかかるなら回覧板でいいという人もいる。月額千円を払う必要があるのならば、町外に出た子どもとテレビ電話で会話ができるなど、具体的な例を示して、その素晴らしさを住民に理解してもらう必要があるのではないか。

月々の利用料が負担になる人も

町の実質的な負担は30年で、それを15年かけて返済していくという。結局、わたしたち町民が払っていくということなのか。人口が減り続けている状態にある本町。15年後には人口がさらに減り、一人当たりの負担が増えるのではないか。年金暮らしの人たちも多い。月々の利用料も負担になる。そういう人がいることを知ってほしい。役場にこういう事業をやるといわれたら「そういうものか」と思ってしまうが、正直言って、これが良いものかどうか分からない。

期待と不安。

chapter
住民の反応

必要だと感じる声や事業実施を懸念する声…

現在町に対して、さまざまな意見が寄せられている。

どれも町の未来を見据えた貴重な意見だ。

(氏名・性別・地区名は公表しません)

必要性を感じる事業である

同様の設備を導入している村に視察に行き、事業の必要性を感じた。保健師が高齢者とテレビ電話でやりとりする様子を見て、訪問介護の補完になると感じたし、端末機を使いこなせないお年寄りを、小学生が教えることで、1カ月くらいで使えるようになったというエピソードも聞いた。山の中でも、都会と同じサービスが受けられるのは大事なこと。特例債を使って本気でやるのだと期待する。ただ、事業の進め方には疑問を感じている。

全世帯へのアンケートを

テレビは見られるし、ADSL回線で十分だと思う。そうなると、この事業では「告知放送」しかありがたみを感じない。回覧板や戸別受信機で情報発信は賄えている。本事業にどれだけ効果があるのだろうか。できれば住民説明会の終了後に、もう一度、全世帯へのアンケートを実施してほしい。

計画自体悪くない。事業費が問題

この事業は多くの人が関心を持つ事業であるのは間違いない。全体事業費の16億円という金額を大きすぎると町当局は考えないのか。予算の優先順位はどうなっているのか。お茶や林業との兼ね合いはどうか。これが本当に町民が望んでいる計画なのだろうか。広く事業全般を見て考える必要があるのでは。今、大きなお金をかけてでもやるべき事業かという疑問がある。計画自体は悪くない。町にふんだんにお金があるときなら問題なくやれると思う。今こそ、真剣に考える必要がある。

どんな意見が出たか公表を

この事業について、知識に疎い人が多いと思う。説明会で各地区を回ってもらい、ほかではどんな反応だったか、どんな意見が出たか公表してほしい。それを知ること、われわれも勉強していきたいと思うし、考えるきっかけにしたい。将来に向かって、必要な事業であるとは思っている。